

市田忠義副委員長を迎え
タウンミーティング

はたやま和也
高橋誠一郎 予定候補

参院選勝利へ決意



市田忠義党副委員長

若い人が保育士になりたいと言えるように
県内の保育園で働く保育士の女性は「子どもの笑顔や可愛い姿、成長を毎日間近で見られる

日本共産党茨城県委員会は4月27日、水戸市で市田忠義副委員長を迎えた集い「政治のモヤモヤを吹き飛ばそう！茨城ミーティングwith市田さん」を開きました。医療や保育、業者、農業、学生の分野から5人が登壇し、現場の悩みや政治に実現してほしいことを発言しました。



看板業者の男性は重い税負担をめぐり、「赤字でも売り上げがあれば納めなさいといけないうのが消費税だ」と訴え。「増税地

自営業に重い消費税

医療機関に勤務する男性は、病院経営が危機に瀕し、全国で倒産や休業業が相次いでいると指摘。経営が厳しい中でも差額ベッド代を受け取らず、無料・定額診療を続けている医療機関もあるとし、「お金がないことで医療が受けられないことがあってはいけません。医療現場のリアルを伝え、あるべき社会保障の実現をめざしたい」と呼びかけました。

医療現場は経営危機

労働環境を整えて働きやすい職場にしてほしい。若い人が『保育士になりたい』と言えるようにしてほしい」と訴えました。

医療現場は経営危機

素敵な仕事だ」と強調。一方で保育士の給与が低く、国が処遇改善費を導入したものの基本給のアップにはつながらないとして、「公定価格こそ底上げし、労働環境を整えて働きやすい職場にしてほしい。若い人が『保育士になりたい』と言えるようにしてほしい」と訴えました。



高橋誠一郎予定候補

発行所
日本共産党
茨城県委員会
〒310-0804
水戸市白梅3丁目13-8
☎029(353)8290
定価 月150円

日本共産党
茨城県委員会の
ホームページ
<http://ibjcp.gr.jp>

QRコード

e-mail
jcp@ibjcp.gr.jp

獄で事業をたたむ人、仕事を辞めて、せっかく習得した技能を生かせない人がどんどん増える。不公平な消費税は今すぐやめてほしい」と要望しました。

コメ農家に所得補償を

コメ農家の男性は「最低賃金1500円をめざして頑張ろう」という時代にコメ農家の時給10円はあり得ない」と吐露。米価が高騰するも、資材や肥料が高騰し農家は依然として厳しい営農を強いられているとして「コメを安く安定して供給するために所得補償をしてほしい。アメリカ言いなりに軍事費を増やすのではなく、農業予算こそ増やして農家や国民を守ってほしい」と求めました。

高い学費の軽減を

看護学生の女性が文書で発言。介護士として働きながら勉強を続け、看護学校に合格したといいます。学生は「自分の学費は3年間で350万円。高い学費が壁となり、学びたくても学べない人がたくさんいる」と指摘。「金銭の壁は個人や家庭の問題ではなく、社会の問題として捉えるべき。『学びたい』との気持ちを社会で尊重しあう、温かい社会になってほしい」と訴えました。

市田氏は、財界・大企業優先、アメリカ言いなりの自民党政治を変えてこそ、国民の願いが実現できると力説。参院選での日本共産党の勝利を呼びかけました。

7月参院選
公示せまる！

5月14日

県後援会総会

はたやま和也（比例予定候補）

多くの国民が自民党政治に怒り、どの党に託すか模索しています。裏金を暴いたのは共産党です。自民党は片手に企業献金、片手に政党助成金、内ポケットに裏金と商品券まで。物価高で苦しむ国民より「利権とカネ」です。国民民主は自民党を助け企業団体献金禁止に反対、維新の会もひどい予算に賛成。自民党を助ける党が伸びても変わりません。財源を示し消費税減税を説得力持って言えるのも、トランプ関税にアメリカ言いなりやめよと言えるのも日本共産党だけです。やっぱり大本から自民党政治を切り換える日本共産党が伸びてこそ、変化が起きることを胸を張って周りに広げていきましょう。

高橋誠一郎（茨城選挙区予定候補）

どこでも「物価、米価の高騰なんとかして」という声です。コシヒカリ 5 キロ 5000 円を超え定食屋さんではご飯おかわり100 円の張り紙。子ども達も「朝ごはんがパンに変わってお小遣いが減らされた」。学生の4人に一人が食費月1万円だけという深刻さです。全国三番目の農業県茨城から、日本の農政立て直す仕事をやらせてください」と訴えています。「歴史の過ちを二度と繰り返してはいけません」これが私の政治活動の原点です。反戦・平和で一途に頑張ってきた日本共産党を大きくして、平和を守る政治をつくっていききたい。ともに頑張りましょう。

みんなでつかみとった筑西市議補選トップ当選

西部地区委員長・稲石紀保

筑西市議補選（定数2）が4月20日投票開票され、日本共産党元職の石嶋いわお氏が議席を獲得し三浦ゆずる市議と合わせ2議席となり、議案提出権を回復。参院選勝利に向けて特に大事と感じた点を3点のべます。

▼第一に、候補者の決意と市党及び支援の皆さんのあきらめない奮闘です。宣伝、ビラまき、電話かけなど最後まで頑張りぬきました。マイハンドマイクを購入して告示前1人街宣対話に連日とりくむ姿もありました。

▼第二に、候補者先頭に要求アンケートで市民と直接対話、声や実態をリーフや論戦に生かしたことです。

▼第三にわかりやすく希望ある道を示す論戦です。その角度から、国政と市政の対決点

分があり、「誰が市長になっても補選は石嶋、市議会でも共産党がのびることがどうしても必要」と訴えました。ビラ配布、音宣伝 SNS ショート動画が届き、最終盤「あと一歩」の訴えを広げ、日を追って反応がよくなりました。

▼事務所には、自民党支持の人達からも「今の自民や石破もダメ、今度は石嶋」などの電話が相次ぎ、開票翌日は、緊張しながらの匿名電話が地区事務所にも何件もかかってきました。

▼参院選650万票10%、比例5議席確保にむけて、アンケートで地域にどんな姿を現わし、苦難に共感しながら「イチ推し」の日本共産党を明らかに語り広げ、最後まであきらめずにがんばって「新しい政治」を前に進めましょう。



左から高橋氏・石嶋氏・はたやま氏

今年 9 月には県知事選が行われます。県民に冷たい大井川県政の問題点がよくわかると評判の県政パンフレット（県議団作成）ができました。無料です。ぜひ学習会や対話でご活用ください。必要な方は県委員会までお電話ください。ホームページからもご覧いただけます。